◆目 次◆

特 集 世界の電動車市場動向及び政策動向

欧米中の拡販にけん引される世界プラグイン車販売

◇世界プラグイン乗用車(BEV・PHEV)市場は2018年に197.5万台、同保有台数は512.2万台
◇動力別にはBEV、地域別には中国がけん引、メーカー別も中国メーカーがけん引
◇2018年の世界公共充電器数は53.9万基、中国が5割強を占める

第1章 自動車産業・市場動向
短期的には足踏みも、中・印・南米のけん引で中長期は成長
◇2018年の世界自動車市場は約9,580万台、中国等の減速で1億台を前に足踏み
◇2030年は最大で1.2億台を超える可能性
◇2018年世界自動車生産は中国、イラン、西欧の減少で約9,770万台
◇日本メーカーの2018年世界販売シェアは4年ぶりの30%超、世界生産は3,000万台水準に到達
◇世界自動車販売：2018年は中国の減少の影響が大きく、世界全体で0.6%減の9,575.5万台
◇世界自動車生産：2018年は中国、カナダ、西欧主要国等で減少し、1.2%減の9,773.2万台

第2章 自動車グループ・メーカー別生産販売動向
主要グループ別地域別販売比率：GMグループ、PSAなどで特定地域への偏りが強まる
世界ブランド別販売：Opel売却でGMが後退し、VW、トヨタ、Renault/日産/三菱自の新3強時代に突入
主要グループ別地域別生産構成：中国を巡り明暗
世界メーカー別生産：2018年にVWグループ、トヨタグループは増加の一方、Renault/日産/三菱自グループは減少
世界生産能力計画：ホンダ、PSA、GM、Ford等が適正化を進める一方、米・墨・中・印の増産投資は続く

第3章 北米（4ヵ国）
北米総括：NAFTA再交渉の影響で生産は減少も、販売は0.1%増の2,131万台
米国：生産/販売ともに2年ぶりの増加、小型トラック需要拡大が背景に
カナダ：販売は200万台割れも高水準維持、LT比率は初の7割超
メキシコ：販売・生産ともに減少も、輸出は過去最高更新
プエルトリコ：2018年販売は5年ぶりに10万台超え、回復が続く

第4章 南米（10ヵ国）
南米総括：ブラジルの回復背景に市場は7%増の453万台、生産は4%増の352万台
ブラジル：販売257万台、生産289万台に増加、2019年も回復続く見通し
アルゼンチン：景気後退で市場は2桁減、ブラジル向けの拡大で輸出は好調
コロンビア：2018年市場は4年ぶりの増加、堅調な経済成長背景に市場拡大へ
エクアドル：2018年は輸入車が牽引し市場は29.2%増の13.6万台
チリ：2018年販売は15.2%増と好調、EV関連への投資熱が高まる
ペルー：2018年自動車販売は8.0%減の16.6万台、ISC税引き上げが影響
ウルグアイ：2018年の自動車販売台数は4.5万台、日系メーカーは好調
ボリビア：新車販売は3年ぶりに減少
パラグアイ：販売台数は3.8万台と過去15年間で最高
パナマ：2018年自動車販売は5.1万台で2年連続の減少

第5章 西欧（20ヵ国）
西欧総括：生産1,498万台、販売1,649万台に減少
ドイツ：生産は推定564万台に減少、販売は382万台で高水準を維持
英国：市場は280万台弱に減少、Brexitに備え各社が事業調整
イタリア：生産は106万台、販売は212万台に減少
フランス：販売270万台、生産230万台まで5年連続で回復
スペイン：市場は156万台に回復、生産はDE車市場低迷から282万台に縮小
ベルギー：自動車販売は64万台で史上2番目の多さ、生産は31万台を下回る
オランダ：2018年販売は前年比7.1%増、BEV販売が前年比3倍増
オーストリア：販売は39.4万台で4年ぶりに減少、生産は16.5万台で70%増
スウェーデン：2018年の販売は5年振りに減少し42万台、生産は44万台に増加
ギリシャ：販売台数は5年連続で増加し11.1万台
ポルトガル：堅調な経済成長により販売は27万台に回復、生産は過去20年で最高
アイルランド：2018年新車販売は前年比2.8%減、DE車が減少、電動車は増加
デンマーク：自動車販売は25.8万台、2030年に電動車以外の販売を禁止
フィンランド：販売台数は前年比1.7%増、生産台数は11万台超となり過去最高
ルクセンブルク：2018年販売は前年並みの5.9万台、EV・PHEVが2桁増
サンマリノ：2018年販売台数は停滞気味、2019年も低迷の兆し
リヒテンシュタイン：2018年市場は停滞、ディーゼル車の販売が大幅縮小
スイス：2018年販売は34.1万台、乗用車が8年ぶりに30万台割れ
ノルウェー：自動車市場は19.3万台と高水準を維持
アイスランド：2018年販売は14.1%減の2.0万台で5年ぶりに減少

第6章 中・東欧（20ヵ国）
中・東欧総括：市場は454万台、生産は781万台に回復
ポーランド：販売は63万台に回復、生産は66万台に後退
ハンガリー：生産は3年連続で減少、販売は7年連続で増加
チェコ：生産は144万台と過去最高、販売は29万台で前年割れ
スロバキア：生産は114.5万台、販売は11.2万台とどちらも過去最高を更新
ルーマニア：生産は47.7万台に急増、販売も18.7万台まで回復
スロベニア：販売は過去最高の8.8万台、生産は10.3%増の20.9万台
ブルガリア：販売は8年連続で増加し10年ぶりの4万台超
キプロス：2018年は経済成長の鈍化により2.1%減の1.5万台
ラトビア：2018年販売は3年連続の2万台超え、2019年も成長見込み
エストニア：2010年以来9年連続で販売増、2017年以降3万台超水準を維持
リトアニア：6年連続で増加し2018年は過去最高の4.5万台
クロアチア：好調な経済と減税により、乗用車販売は5年連続で増加
セルビア：乗用車販売は前年比5.7%増、Fiat工場の稼働停止で生産は低迷
ボスニア・ヘルツェゴビナ：2018年、小型自動車市場は1.1万台に拡大
北マケドニア：2018年市場は景気回復で1.8%増の6,651台
モルドバ：2018年小型自動車販売は13.6%増の6,340台、回復基調が続く
ウクライナ：販売は前年並み、生産は2割減、BEV購入促進策を継続
ベラルーシ：販売は5.3万台で過去最高、生産は2.3万台に回復
ロシア：2018年に市場は200万台水準、生産は175万台水準に回復
トルコ：通貨暴落等から製販とも減少、Renault、現代自が生産拡大を計画

第7章 アジア（16ヵ国）
アジア総括：アジア市場は前年並み、中国の失速により20年ぶりに減少
日本：2018年は製販で堅調、2019年市場は増税の中で前年並み予想
中国：経済成長鈍化と購入税優遇策撤廃等の影響で、市場は前年割れ
台湾：2018年販売は減税効果減退で43.5万台、EV普及に注力
韓国：販売台数は181.7万台、2年ぶりに180万台を超過
タイ：2018年に市場は100万台超に回復、生産は9.0%増の216.8万台に回復
インドネシア：自動車販売は6.3%増の115万台に回復、生産は10.4%増の134万台
マレーシア：2018年市場は59.9万台へ回復、生産は13.1%増の56.5万台
フィリピン：税制改革響き自動車市場は15%縮小の40.2万台と急ブレーキ
シンガポール：2018年は9.4万台に減少、保有増加率引き下げの影響
ベトナム：2018年は現地組立車を中心に販売増、GMが完成車生産から撤退
ラオス：自動車販売は2.9%減の2.3万台で前年並み、3年連続の減少
インド：2018年生産517万台、販売440万台、ともに3年連続の過去最高
パキスタン：2018年は生産27万台、販売26万台、いずれも過去最高
スリランカ：新車市場は2018年に0.8%減の2.8万台、2019年は成長が期待される
ウズベキスタン：2018年小型自動車生産は国内需要の回復で前年比57.3%増
カザフスタン：2018年は製販とも2桁増、2019年は生産能力倍増の見通し

第8章 大洋州（2ヵ国）
大洋州総括：自動車販売は4年ぶりに減少したが、131.5万台と高水準維持
オーストラリア：経済の先行き不透明感から、販売は115.3万台で4年ぶりの減少
ニュージーランド：2018年販売は前年比2.4%増、電動車普及へ政府が支援策提示

第9章 アフリカ（7ヵ国）
アフリカ総括：アフリカ市場は回復基調だが低水準、モロッコが過去最高に
南アフリカ：販売は55万台、新自動車産業政策の下で年産140万台目指す
エジプト：景気回復、雇用改善により自動車販売は4割増、4年ぶりに前年超え
モロッコ：販売・生産は過去最高、PSA工場稼働でサプライヤー進出が活発化
アルジェリア：2018年は販売が12.7万台と復調、生産面では、地場産業の育成が課題
チュニジア：市場は19.4%減の5.1万台、消費税・輸入関税の引き上げが影響
ケニア：2018年販売は30.6%増の1.4万台で3年ぶりに拡大
モーリシャス：2018年新車販売は2年連続1万台超、2019年も同水準見込み

第10章 中近東（10ヵ国）
中近東総括：イランへの経済制裁再開や、原油安による景気低迷により26.9%減
イラン：米国による経済制裁再開で生産は96万台に減少
サウジアラビア：2018年販売は23.4%減の41.1万台、経済低迷で市場縮小
アラブ首長国連邦：2018年販売は21.9万台に縮小、5%のVAT導入が影響
クウェート：2018年の販売台数は10万台、3年連続で減少
イスラエル：2018年販売台数は28.2万台、2年連続の縮小
レバノン：2018年は18.9%減の3.98万台、政治混乱による経済停滞が影響
ヨルダン：2018年の販売台数は3万台、10年前と同水準に減少
オマーン：2018年の自動車市場は12.4万台、上位ブランドが軒並み減少
カタール：2018年は3年連続の二桁減
バーレーン：2018年は景気低迷で4.8%減の3.5万台

巻 末 主要国自動車工業会による車種別生産・販売分類区分
販売分類区分
生産分類区分

世界自動車産業専門調査会社
FOURIN フォーイン

＊フォーインでは調査報告書のご採用可否の検討用として、お客様のご要望に応じて実際の調査報告書をお送りすることも可能です。ご希望の際は、右記までお問い合わせください。

〒464-0025 愛知県名古屋市千種区桜が丘292
Tel:052-789-1101 Fax:052-789-1147
E-mail:info@fourin.jp https://www.fourin.jp

好評販売中

世界自動車統計年刊2019

米中の成長鈍化で年1億台を前に足踏みする世界自動車市場

■ 発刊：2019年8月30日 ■ 体裁：A4判、435頁 ■ 価格：140,000円+税 国内送料込

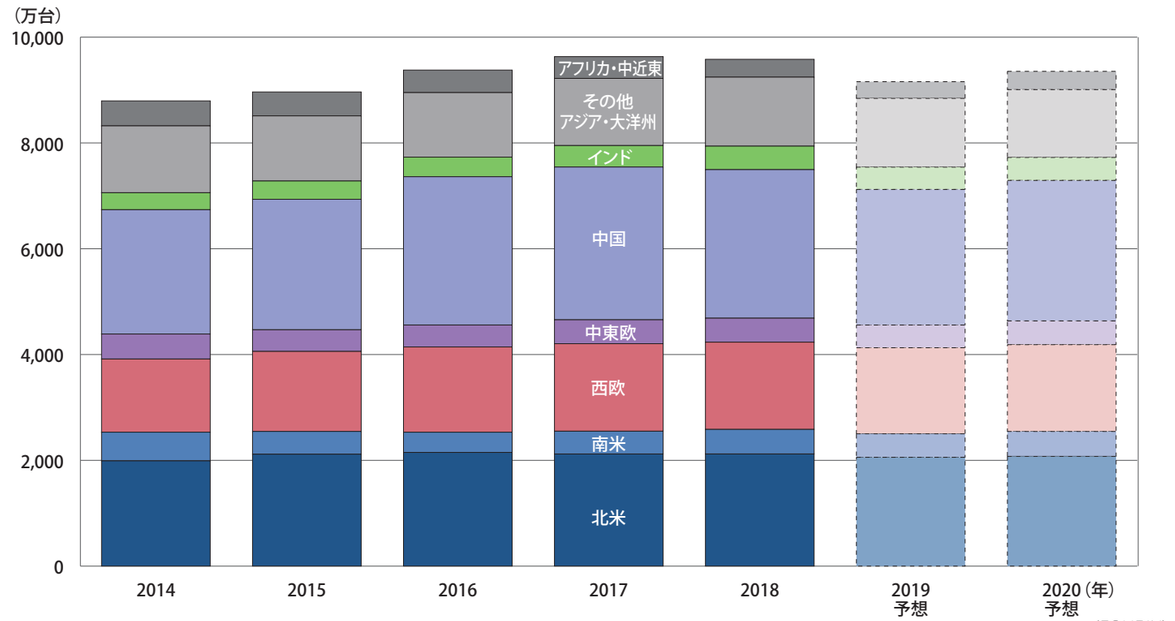
◆世界89ヵ国の自動車関連統計、政治・経済・産業の最新動向を報告 !!
◆世界主要国/地域の電動車/公共充電スタンドの統計と政策を巻頭特集で解説 !!
◆能力適正化が目立つ主要自動車メーカーの生産能力計画を比較し、方向性を分析 !!

2018年の世界自動車市場は前年比0.5%減の9,581.3万台と、前年までの堅調な成長基調から一転し、1億台を目前に足踏みをしています。自動車需要の低迷期から脱したブラジルとロシアに加えて、インドでも成長基調が続きましたが、中国で景気の低迷や税制優遇終了に伴う反動減により同2.8%減となったほか、米国などによる経済制裁が再開されたイランを始め、トルコ、英国、イタリアなどでの減少があり、0.5%と小幅ながら成長基調にストップがかけられました。2019年に入っても中国での需要回復が遅れているほか、好調であったインドやロシア、西欧主要国でも減速が目立っており、世界自動車販売は引き続き前年を割り込む可能性が高まっています。ただ10年のスパンで今後の世界自動車市場を展望すると、冷え込みは一時的で、中国やインドを中心としたアジア新興国などでの需要拡大にけん引され、中長期的には成長基調を歩むことが見込まれます。またParis協定の目標である世界規模でのカーボンニュートラルの実現に向けて、中国や米国、欧州主要国などで電動車の普及を規制により促進する動きが加速しており、BEVやPHEVなどのプラグイン車に加えて、HEVなどの販売が加速することが確実です。

当調査報告書では、世界89ヵ国の販売と49ヵ国の生産実績を集計。自動車生産・販売の状況や自動車関連の法政策の変化、経済状況などを踏まえて、各国の自動車産業の現状を解説しています。また総論部分では車種別やブランド/メーカー別に生産・販売データを比較・分析しています。さらに特集では、世界主要国/地域別の電動車と公共充電スタンドの統計を取りまとめたほか、主要国の電動車関連の政策的な動きを報告しています。当案内をご高覧の上、関係部署ともご相談いただき、ご採用賜りますようお願い申し上げます。

主要市場の鈍化で2018～2019年に伸び悩む世界自動車市場

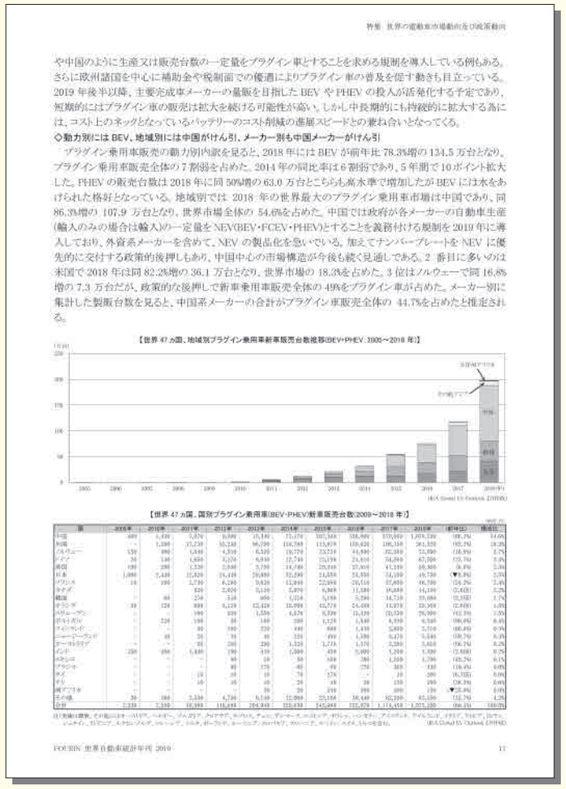
世界地域別自動車販売台数推移(2014～2020年)



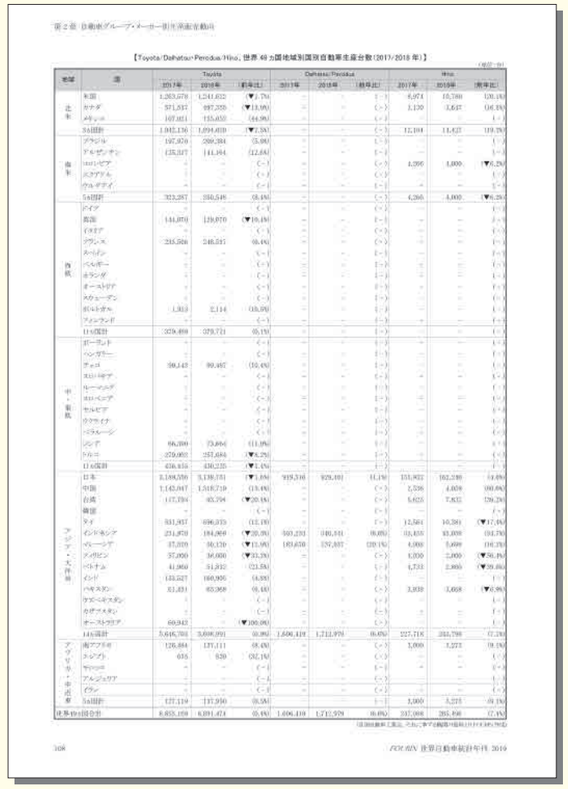
(FOURIN)

FOURIN https://www.fourin.jp

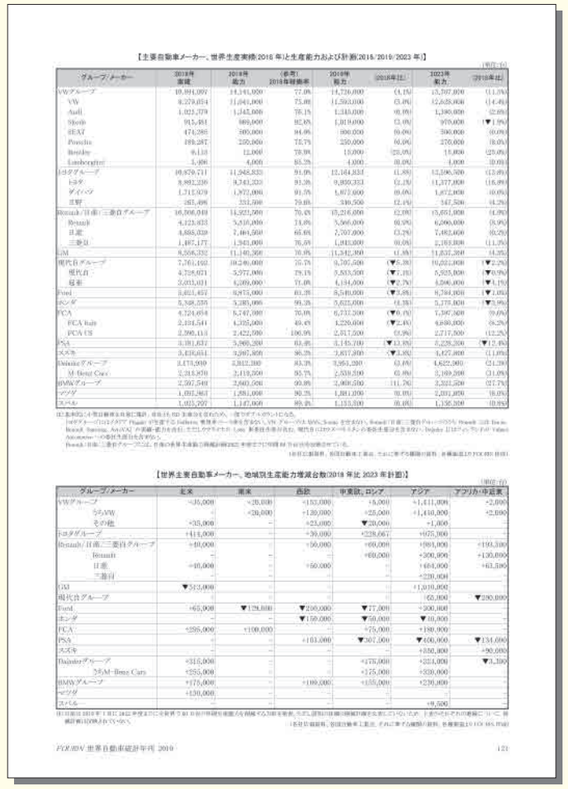
特集では世界主要国の電動車統計を取りまとめ、電動車関連政策を比較!!



グループ・メーカー別に国別の自動車生産台数を掲載!!

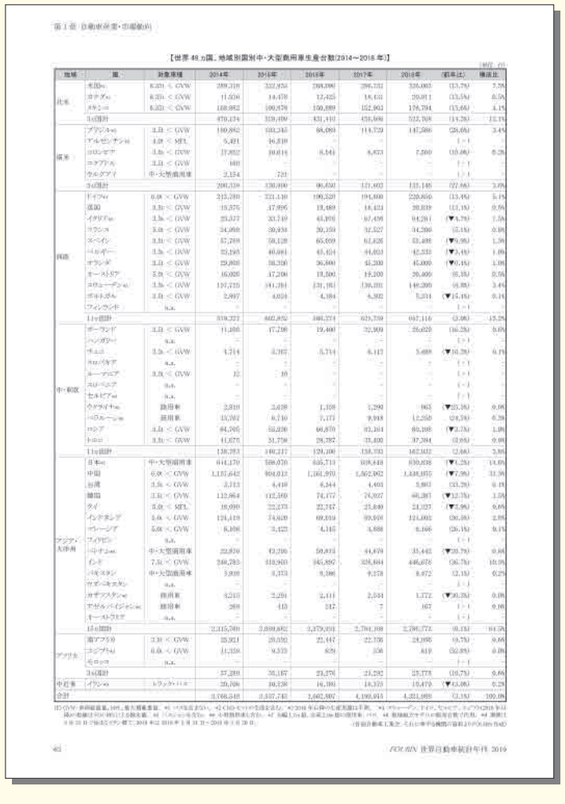
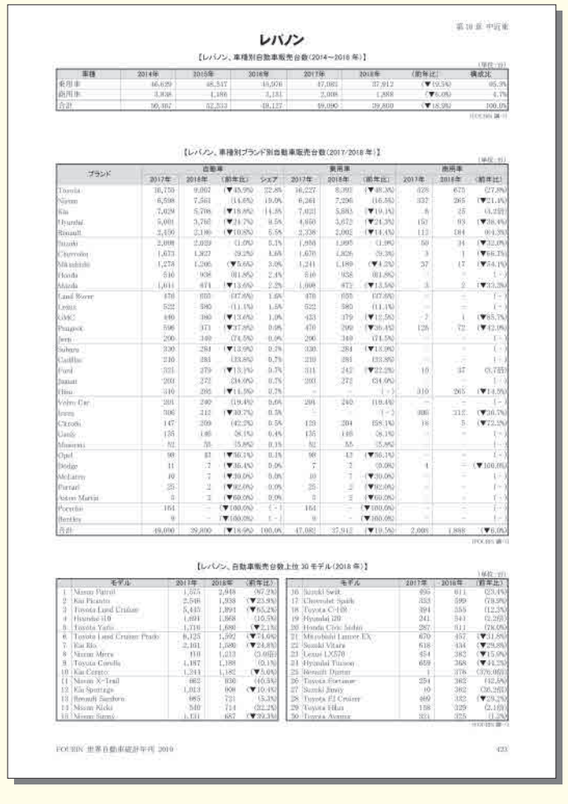


主要グループ・メーカーの2023年までの生産能力計画を比較!!



主要地域/国の新車市場を展望!!

国別・車種別の自動車生産台数を収録!!



情報の少ない新興国も含めて89ヵ国の自動車関連統計・産業動向・政策動向を基に自動車業界の現状と見通しを解説!!